

全国救護施設協議会

平成 30 年北海道胆振東部地震の被災状況及び支援活動について

9月6日（木）

○北海道胆振地方中東部を震源として最大震度7の地震が発生。

○全救協より被害状況について各施設に照会。

（事務局である北海道社会福祉協議会は、停電のため電話不通。）

○北海道全域で停電が発生。

○北海道にある救護施設全9施設中、5施設が地震の影響で電話が不通。

⇒【白石福祉園（札幌市白石区）】

⇒【札幌市あけぼの荘（札幌市白石区）】

⇒【静心寮（札幌市白石区）】

⇒【東明寮（帯広市）】

⇒【明和園（函館市）】

⇒【札幌明啓院（札幌市東区）】

- ・利用者、職員・建物に被害なし。
- ・地下水くみ上げ式のポンプを非常電源で使用。
- ・都市ガスは使用可能。

⇒【函館厚生院高丘寮（函館市）】

- ・利用者、職員・建物に被害なし。
- ・地下水くみ上げ式のポンプが停電の影響で使用できないため、施設外の散水栓の水を使用。
- ・飲料水は備蓄品を使用。
- ・ガスは使用可能。

⇒【函館共働宿泊所救護部（函館市）】

- ・利用者、職員・建物に被害なし。
- ・水道は使用可能。
- ・プロパンガスは使用可能。

⇒【親愛の家（歌志内市）】

- ・利用者、職員・建物に被害なし。
- ・貯水槽の水を使用。
- ・ガスは使用可能。

9月7日（金）

○全救協より被害状況について各施設に照会。

⇒【東明寮（帯広市）】

・地震の影響で現在も電話が不通

⇒【白石福祉園（札幌市白石区）】

・利用者、職員・施設に大きな被害の報告はなし。

⇒【札幌市あけぼの荘（札幌市白石区）】

・利用者、職員・施設に大きな被害の報告はなし。

⇒【静心寮（札幌市白石区）】

・利用者、職員・施設に大きな被害の報告はなし。

⇒【明和園（函館市）】

・利用者、職員・施設に大きな被害の報告はなし。

9月8日（土）

○物流の回復の目途が立っていないことと、各施設の備蓄食料の状況により、大西全救協会長と山田北海道地区会長の協議の結果、全救協として物資の支援を行うことを決定。

○東北地区救護施設協議会に物資の支援の協力を依頼。

9月9日（日）

○東北地区救護施設協議会（白鳥ホーム：青森県）より、函館共働宿泊所救護部（函館市）にワゴン車1台分の支援物資を運ぶ。

9月10日（月）

○全救協より被害状況について東明寮に照会。

⇒【東明寮（帯広市）】

・利用者、職員、施設に大きな被害の報告なし。

○函館共働宿泊所救護部（函館市）より、東明寮（帯広市）に上記の支援物資の一部を運ぶ。

9月11日（火）

○現地の物流の回復により物資が安定してきたため、物資の支援を一旦停止。